



宮古島市教育委員会



宮古島市 neo 歴史文化ロード  
新 繾道



四島・西辺コース

ゆすま  
にしへ

絳道

あやんつ





縹々道

あやんつ

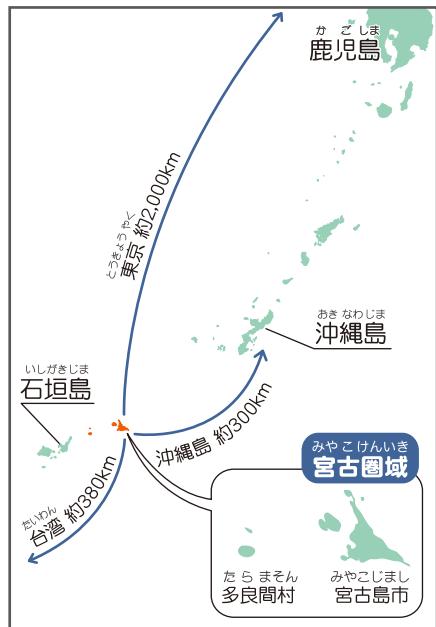
おもむき めも みやこ  
「趣のある道」のことを、宮古のことばで「あやんつ」といいます

# みやこじまし いちめんせき 宮古島市の位置と面積

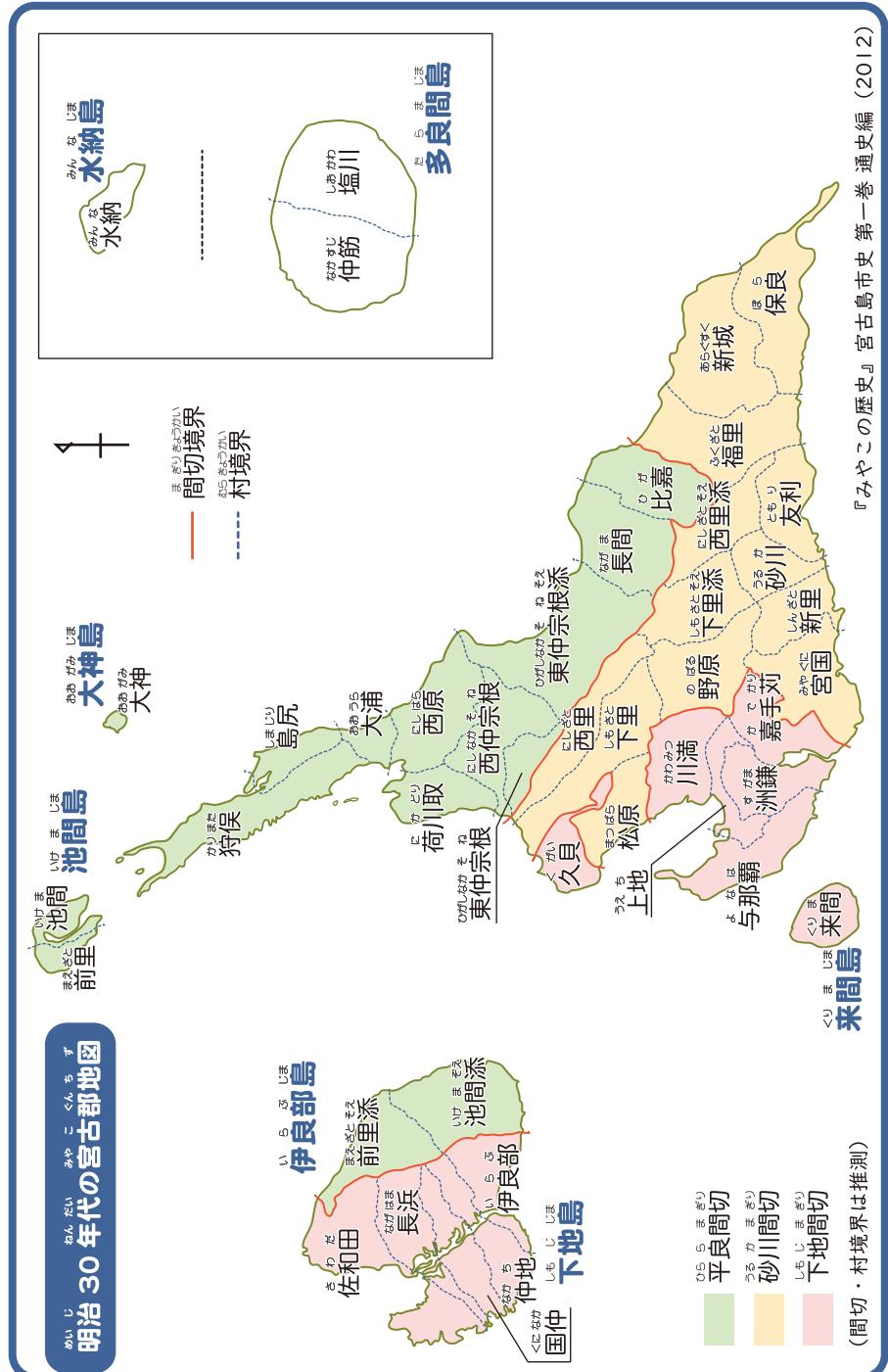
みやこじましまいしょうしまみやこじま  
宮古島市は大小6つの島(宮古島、下  
いけまじまおおがみじまくりまじまいらぶじましち  
池間島、大神島、来間島、伊良部島、下  
じじまこうせい  
地島)で構成されています。

そう めん せき へい ほう じん  
総面積は204平方キロメートル、人  
こう やく まん だい ぶ ぶん  
口約5万6,000人で、人口の大部分は  
ひら ち く しゅうちゅう  
平良地区に集中しています。

しま ぜん たい へい いたん さん がく ぶ おお  
島全体がほぼ平坦で、山岳部や大き  
か せん せい かつ よう すい  
な河川もなく、生活用水などのほとん  
ち か すい たよ  
どを地下水に頼っています。



# 明治 30 年代の宮古郡地図





## 宮古島市neo歴史文化ロード 綾道（四島・西辺コース）

※御嶽は祭祀などを行う大切な場所です。神聖な場所なので入らないようにしましょう。

宮古島市の位置と面積.....	02
明治30年代の宮古郡地図.....	03
<b>散策マップ(四島・西辺コース)</b>	06
四島の主の墓 市指定史跡.....	08
四島の主と墓.....	09
「四島の主」の功績.....	10
<b>散策マップ(池間コース)</b>	12
池間島の概要.....	11
<b>大主御嶽(ナナムイ) 拝所</b>	14
<b>池間島のミャークヅツ</b> 県選択無形民俗文化財・市指定無形民俗文化財.....	15
男性が中心のミャークヅツ.....	16
女性が中心のユーケイ.....	17
いろいろな用途に使われた土地・スクニヤー.....	18
移住者を送り出しつづけた池間島.....	19
<b>八重干瀬</b> 国指定名勝及び天然記念物.....	20
八重干瀬に沈んだプロビデンス号.....	21
<b>散策マップ(狩俣コース)</b>	22
狩俣の概要.....	24
狩俣の村立ての伝承.....	25
<b>イスゥガ一(磯井)・クヌカ一(後の井)</b> 市指定有形民俗文化財.....	26
<b>狩俣の植物群落</b> 市指定天然記念物(植物).....	27
クバラパーズの復讐.....	28
13~14世紀 宮古の豪族とグスク.....	29
狩俣のツナカキヤー(追い込み漁).....	30
<b>散策マップ(島尻コース)</b>	32
島尻の概要.....	34
<b>島尻元島とンナカガ一</b> 市指定史跡.....	35

<b>宮古島のパントウ(島尻)</b> 国指定重要無形民俗文化財.....	36
<b>来訪神：仮面・仮装の神々</b> ユネスコ無形文化遺産.....	36
パントウとともに登録された来訪神たち.....	37
<b>島尻のパントウ・ブナハ</b> .....	38
<b>島尻断層崖と海食台</b> 市指定天然記念物(地質).....	40
<b>シマジリクジラ化石</b> 市指定天然記念物(地質).....	41
図解！島尻断層崖と海食台.....	42
<b>島尻のマングローブ林</b> 市指定天然記念物(植物).....	43
<b>散策マップ(大神コース)</b>	44
大神の概要.....	46
秘祭 祖神祭(ウヤガン・ウヤーン).....	47
堆積物からわかる島の隆起.....	48
宮古島の一般的な地層.....	49
<b>先島諸島火番盛 池間・狩俣・島尻・大神</b> 国指定史跡.....	50
國立療養所 宮古南静園.....	51
石壁などに使われたビーチロック.....	52
まだまだある！魚垣.....	53
<b>散策マップ(西辺コース)</b>	54
西辺の概要.....	56
大浦多志と大浦集落.....	57
移住の決め手になったイーガマとヒダガー.....	58
<b>大主御嶽(西の御嶽) 拝所</b>	59
西原のミャークヅツ.....	60
西原のユーケイ.....	61
大浦と小浦.....	62
<b>大野越排水溝(トンネル)</b> 国登録有形文化財(建造物).....	63
憩いの場だけじゃない 大野山林.....	64
文化財の体系図・一例.....	66

ゆすま  
にしへ  
西日本コーズ

八重干瀨 P20

コース P12

**大主御嶽(ナムイ) P14**

**池間島のミヤクヅシ P15**

**先島諸島火番盛 池間遠見 P50**

**START**

**西平安** (にし へんじん) 西平安全 P22

**先島諸島火番盛** (せんとうしょとうひばんせい) 先島諸島火番盛 P26

**イヌガードー(機井)** (いぬがーどー(きい)) イヌガードー(機井) P26

**クヌカー(後の井)** (くぬかー(ののい)) クヌカー(後の井) P26

**群落の植物** (ぐんらうのしょくぶつ) 群落の植物 P27

かいくんとことうていひ とく  
海軍特攻隊

**島尻**しまじり コース P32

**島尻元島とソナカガーフィヨード**しまじりもとじま しまじりとうなんかがー フィヨード P35

**島尻諸島火番盛島尻遠見**しまじりしづしま ひばんせいしまじりえんみ P50

**先島諸島のパーントウ**せんしましづしま の パーントウ P36

**宮古島の宮古断層崖と海食台**みやこじまの みやこだんそうがい かいしょくだい P40

**シマジリクジラ化石**シマジリクジラ かせき P41

**島尻のマングローブ林**しまじりの マングローブ リン P43

卷之三

A map showing the location of Tsurumi Station (鶴見駅) in Yokohama. The station is marked with a red dot and labeled "Tsurumi 鶴見". A red line indicates the path from the station towards the Tsurumi River. The river is shown flowing through the area, with several green dots representing residential areas labeled "Tsurumi-cho つるみ町". The map also shows various roads and landmarks.

1

白川近  
まほわらひ

沖縄島発見出発の碑  
『与那国島』  
頭豊親見  
はせだりゆみみ  
ななよな  
おきなわじまはしづかはつ  
ち  
源地・貯水池

卷之四

ゆ すま しゅう はか  
四島の主の墓

この墓は、島尻、大神、狩俣、池間の4集落(四島)を見渡せる小高い場所にあります。宮古の方言で集落を「島」といい、四島の主とは、「4つの集落の主長」という意味合いを持ちます。

四島の主は、農耕を奨励し、平良を往来する街道の整備と、道沿いに井戸や休憩所を設置するなど、住民の生活をよりよくするために尽力しました。四島の主の生没年は不詳で、この墓は近年まで主の子孫によって代々使用されてきたと伝えられています。

ゆ すま しゅう はか  
四島の主と墓

『宮古史伝(1927)』、『宮古島庶民史(1957)』などの歴史書によると、四島の主の生没年は「不詳」とされています。

古謡の「四島之主のアヤゴ」に、仲宗根豊見親が登場することから、おそらく15世紀末～16世紀始め頃の人物ではないかと考えられています。

四島の主は狩俣の真屋(屋号)で生まれ、百佐盛と名乗り、幼い頃

集落=島。  
この4つの「島」の主長だったといわれる。



から頭がよく、文筆才能に優れていたとされます。

集落には、四島の主のものだとされる墓が4基あるといわれており、その頃は偉人の骨は盗られやすかったため、カモフラージュとしていくつも造ったのではないかと考えられています。

4基の墓のうち2基は所在がはっきりしていますが、残り2基は分かっていません。

4つお墓がある！？



文化財指定されている墓



狩俣駐在所の向かいにある墓

③ ? ④ ?

## 「四島の主」の功績

### 造船



いりおもじま  
西表島

四島の主は、仲宗根豊見親の命によって、八重山諸島の西表島古見で船大工を集め、数か月かけて新しい船を完成させました。仲宗根豊見親は平良の漲水港で四島の主を出迎えるほど喜びようだったと伝えられています。その後、その船で首里へ貢物を納める大任も果たし、四島の主の名は宮古だけではなく沖縄島まで知られるようになりました。

### 石橋の築造

狩俣と島尻の間に大きな入り江があり、人々は苦労して迂回していました。そこで、四島の主は住民と共に石橋を築造。人々はこの橋をバタラズパス(渡地橋)と呼び、民謡にもうたわれています。石橋は戦後消失し、現在は少し海側にコンクリートづくりの橋がかけられています。



### 井戸の掘削と休憩所の設置



昔は、狩俣から平良の間を往復することは大変でした。

そこで、四島の主は、狩俣と平良間の街道にいくつかの井戸を掘り、側にユカイ・ドゥクルと呼ばれる休憩所を設置。貴重な休憩の場として、集落の人々に長く利用されました。現在、狩俣中学校前にスガミヌカーという井戸が1か所だけ残っています。

## 池間島



池間  
コース

池間島は宮古島の北に位置します。周囲9kmで、池間大橋で宮古島とつながっており、池間と前里のふたつの字から成ります。島の中央にある宮古唯一の淡水の湿原である池間湿原は、渡り鳥を観察できる場として有名です。

湿原は、かつては漁港からつながる入り江で、島の食料庫でした。さらに島の北方には良好な漁場でもある八重干瀬という広大なサンゴ礁群があり、20世紀初頭から始まったカツオ漁業も加わって、池間島といえば「カツオ一本釣り」を連想させるほどになりました。

# 大神島



## 大主御嶽(ナナムイ)



池間の人はこの御嶽を「ナナムイ」と呼びます。島の守護神とされる御嶽で、池間島で最も崇敬されています。池間の年間祭祀の中心的な祭場で、男神「うらせりくためなうの真主」と宮古の十二方の神々を生んだ「子方母天太」という母神が祀られており、男子禁制です。

旧暦8～9月のミヤークヅツの3日間を除き、一般の人の立ち入りは禁じられています。



## 池間島のミヤークヅツ



池間島のミヤークヅツは池間最大の行事で、毎年旧暦8～9月の甲午の日から3日間にわたって行われます。

池間島出身の55歳以上の男性で構成されるムトウヌウヤたちを中心に、4か所のムトウ(真謝・上ぎ榊・前又屋・前里)で執り行われます。池間島から分村した伊良部島佐良浜や平良西原でも、同日にそれぞれの地域特有のミヤークヅツが盛大に行われています。

